

平成 30 年度第 2 回公立大学法人公立諏訪東京理科大学理事会議事録

日 時 平成 30 年 5 月 23 日 (水) 15:30~16:35

場 所 6 号館 2 階第 1 会議室

出席者 唐澤理事長、河村副理事長、松江理事、入江理事、樋口理事、船木理事、宮坂理事、河嶋監事

(牛山事務部次長、石黒総務課長、加藤教務・学生支援課長、堀向総務課係長)

欠席者 柴田監事

[議 事]

1 理事長挨拶

唐澤理事長から、審議に先立ち挨拶があった。

併せて、唐澤理事長から議事録については規程に定めるとおり理事長の他、2 名の出席理事に記名押印をしていただくこと、次回以降、議事については決議事項と審議事項に区別して審議を行うこととし、今回については「公立大学法人公立諏訪東京理科大学年次計画について」を決議事項、「平成 30 年度監査方針（案）について」を審議事項とすること等説明があった。

また、前回欠席であった船木理事より自己紹介があった。

2 審議事項

(1) 公立大学法人公立諏訪東京理科大学年次計画について

唐澤理事長から資料 1 をもとに、4 月 26 日に諏訪広域公立大学事務組合の正副組合長会議において認可された中期目標にもとづき 2018 年度の年度計画を立案したこと、大学教育研究と法人経営について重点取組テーマを設定したこと、重点取組テーマをもとに実施主体部門が取り組み内容を具体化すること等説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

また、これに関連して 2018 年度入学生のアンケート結果について報告があり、現役入学者、他大学の併願者、大学院進学を希望する者が例年に比べ増加していること等報告があった。これに対して、アンケート結果を分析することによって本学に何を求めて入学しているかわかるのではないか、今年度入学者は私立型入試であったことから次年度以降の動向も注目する必要があるのではないか、大学院進学希望者が増えれば研究設備の充実も必要ではないか、学生チャレンジプラン等を通じて学生が諏訪地域に育てられたという思いを持つことが重要ではないか等の意見が出された。

(2) 平成 30 年度監査方針（案）について

唐澤理事長から資料 2 をもとに、2018 年度の監査方針について、今年度はコンプライアンス遵守に関する啓発活動を中心に、公立大学法人の持つ経営資源の中で効率的な監

査を行う予定であること等説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

3 報告事項

(1) 平成 29 年度卒業生進路決定状況について

唐澤理事長から資料 3 をもとに平成 29 年度卒業生の進路決定状況について、工学部の学科組織改編後初の卒業生となったが進路決定率は 100%であったこと、諏訪地域への就職者は 27 名であったこと等報告があった。

4 その他

(1) 八ヶ岳中央農業実践大学校との連携について

樋口理事から、八ヶ岳中央農業実践大学校を運営する公益財団法人農村更生協会の会長が茅野市に就任の挨拶に来た際に、農工連携について本学との連携をさらに図っていききたいとの話があったことの報告があった。これに対して唐澤理事長から地域連携研究開発機構を活用して連携を図っていききたいとの話があった。

(2) 「スワリカブランド創造事業」について

樋口理事から茅野市で申請した地方創生推進交付金による「スワリカブランド創造事業」について、交付が決定し、6月に行われる茅野市議会で補正予算承認後、事業が開始となるので協力をお願いしたいとの報告があった。これに対して唐澤理事長から本事業に関わる特任教授の受け入れ準備をしていること、事業については今後順次進めていくこと等、話があった。

以上